



# マレーシア

by Hiroto

## • はじめに

2007/8/30～2007/9/7の九日間。大学の講義でマレーシア・ボルネオ島体験エコツアー(ホームステイプログラム)へ行ってきました。今回のプログラムは他大学との合同プログラムで関西の阪南大学と同志社大学の学生と一緒に参加しました。参加目的は、多文化交流・人とのふれあい・語学・自然観察のためにこの参加しました。

## • マレーシアについて

東南アジアの中心に位置するマレーシアは、マレー半島とボルネオ島の一部・サバサラワク州から成り立っています。国土面積は33万338平方キロメートル。国土の約60%が熱帯雨林で覆われています。人口約2500万人のマレーシアは、マレー系・中国系・インド系、そして多数の部族に分けられる先住民族で構成される多民族国家です。それぞれの民族が持つ宗教、生活習慣の融合は独特な文化を生み、マレーシアの魅力の魅力を創り出しています。また、のんびりとくつろぐことの出来る砂浜、南国の熱帯雨林、魅力的な島々、神秘的で荘厳な山々など自然美に溢れる国です。

## • 通貨の単位について

マレーシア・リングgit(RM)とマレーシア・セン(SEN)があり、1リングgitは100センです。交換レートは、1リングgitは、約35円(07年/8月現在)

紙幣には5種類あり、RM2。RM5。RM10。RM50。RM100。があります

硬貨には6種類あり、1sen。5sen。10sen。20sen。50sen。RM1。があります

## • ホームステイ先の村について

今回ホームステイプログラムで、ピリット村という、小さな村に行ってきました。村の人

口は400人程度の小さな村です。村のメインの仕事は川で魚を取り市場に売りにいくようです。村の人たちはよう気で気軽に話しかけてくれます。そして村中の大人と子供たちみんなでスクールの中サッカーもしました。

写真は試合前の練習風景です。



## • お世話になったホストファミリー

今回お世話になった家族構成

おばーちゃん Ramnah

お母さん Novhanie

お父さん Rosman

子供 Nahlie

子供 Safuan

子供 Favhana

写真では、お父さんが仕事と一緒に写真を撮ることができず・・・でも近所の子供たちが遊びに来てくれて一緒に写真を撮りました。前列左側の女の子は毎日遊びに来てくれました。もう一枚の写真はそれぞれのホストファミリーから借りた伝統衣装で一枚。



家族と近くの子供たちと一枚



伝統衣装に身を包んで一枚

• マレーシアの自然について

今回のエコツアーで驚かされた一つとしてマレーシアの自然。広大の土地に何キロにもわたって植林された私たちの生活に欠かせない石鹸の原料のパームヤシ畑が一面に広がっています。

丘の上から見える風景



何キロにもわたるパームやし畑



初めて見たウツボカズラです。捕虫器に虫を寄せ付ける蜜線がありそこに虫が集まり、捕虫器の口の部分が滑りやすくなっており、虫を消化し養分として吸収するようです。



道端に生えている植物でシャボン玉を飛ばす方法を習いましたが飛ばせませんでした・・・。



二人はとてもうまく飛ばしていました！



果物市場には様々な見たことないフルーツばかりで、お店の人たちは、これでもか！と言わんばかりの試食をさせてくれました。日本人の口にも合う味でした



村の横に流れる川の写真です。昔日本がこの川の上流で植林をさせ木をどんどん伐採した結果今になっても土が沈殿することなく川が茶色く濁ってしまったそうです。



森の中を突き進んで茶色くにごった湖泳ぎました！日本にいたら絶対にできない本当に貴

重な体験をさせてもらいました。湖底は沈殿した泥で足が取られたり・・・。みんなで泥パックだよ。とって体に塗りたくりました。



様々な動物も見る事ができました。オランウータン。かにかくい猿。天狗猿。大蛇。ななふし。巨大ダンゴ虫。ワニ。色鮮やかな野鳥。巨大毛虫。家の中にヤモリが出てきたり。



**巨大ダンゴ虫です。大きな飴玉サイズです**



## オランウータン保護施設にて



### まとめ

この研修を通して沢山の人に出会い、植物を見たり、ジャングル散策をしたり、様々なことを学んだ。自分にとってとても貴重な体験となりました。印象的なのは村での夜空です。まるでプラネタリウムにいるかのような星空を見ることができました。日本では24時間明るく見る事ができないあの夜空・・・。

関西の人、先生、日本からの添乗員さん、村のひと、村に来ていた外国人、本当に沢山のコミュニケーションをとり、自分が持ってない考え方もあり本当に楽しかったです。

最初は正直、村での生活に戸惑いもありました。日本にいるときでは考えられない生活で、お風呂は水しか出なくタライに水をためて入ったり。夜はローソクの小さな光の中ホストマザーと日本語の勉強をしたり。でも村の子供たちもいつもニコニコしていて、すぐに仲良くなり、植物でシャボン玉を飛ばす方法を



教えてくれたり、一緒に釣りのえさ探しをしたりと楽しく過ごせました。楽しい時は時間が過ぎるのも早く本当に心にグッとくる物がありました。こんな体験は簡単には出来る物ではないし、また行く機会があれば是非いきたいです。